

外部評価委員の意見

1 学校教育の充実

(1) 管理課所管

ア 学校施設整備事業については、老朽化が進む施設に対し、児童生徒の安全確保を最優先に計画的な整備を進めていることや、維持管理において建築職の専門的知見が有効に活用され、適切な点検や修繕が実施されていることに感謝する。一方で、今後さらに施設の老朽化が進行することが見込まれることから、更なる安全管理の徹底と計画的な改修を継続するとともに、プール施設については施設の更新や維持管理の負担、利用状況等を踏まえ、将来的な在り方について検討を進める必要があると考える。

今後、限られた財源の中で効率的な施設整備を推進し、児童生徒が安全かつ安心して学習できる教育環境の確保に努められたい。

イ 地域に根ざした学校活性化推進事業については、特色ある教育活動に魅力を感じる児童の入学につながるよう、引き続き取組内容の充実及び情報発信の強化を図っていただきたい。

今後、特色ある学びの内容を一層明確化するとともに、効果的な周知方法についても検討し、本事業の更なる活用と児童数確保につなげてほしい。

ウ 部活動地域展開推進事業については、平日及び休日の活動に一定の制約が生じることへの懸念が示された一方で、地域との連携を図りながら、スポーツ・文化活動の楽しさを維持し、生徒の活動機会の確保及び選択肢の拡大につなげていくことが重要である。また、事業推進にあたっては、補助制度の活用や体制整備を進めつつ、可能な限り地域への円滑な移行を図るようお願いしたい。

今後は、地域クラブとの連携体制の強化や指導者確保に努めるとともに、活動機会の確保と教職員の負担軽減の両立を図りながら、持続可能な運営体制の構築に向けて取組を推進してもらいたい。

エ 学校給食については、食物アレルギー対応に十分留意し、児童生徒に対して安全・安心でおいしい給食を安定的に提供していくことが重要である。また、物価高騰による財政運営への影響を注視するとともに、事故防止の徹底を図り、児童生徒の健康の維持・増進につながるよう、引き続き体制強化に努めてもらいたい。

今後は、アレルギー対応を含む安全管理の徹底を図るとともに、物価動向や財政状況を踏まえた持続可能な給食運営の在り方を検討し、安全性と安定供給のバランスを図りながら事業を推進してほしい。

2 児童福祉・幼児教育の充実

(1) こどもえがお課所管

ア 子どもの健全な成長のためには、子どもの言動を表面的にとらえるのではなく、その背景や気持ちを理解しながら関わることが求められる。一人ひとりの思いや考えを尊重し、丁寧を受け止める保育・教育が重要である。職員研修において、実践的な保育内容に加え、児童心理や発達支援、窒息・誤飲事故発生時の救命講習など、個々の職員の専門性向上に資する研修機会を継続的に確保し、人材育成の充実を図られたい。

イ 保育士等の人材確保は、安定した保育・教育環境を維持する上で極めて重要である。慢性的な保育士不足への対応として、人材募集の方法にさらなる工夫を図るとともに、保育現場の魅力を積極的に発信することが望まれる。また、職員が子どもと向き合う時間を十分に確保できるよう、業務負担の軽減や補助人材の確保にも努めるよう願う。

ウ 子どもや家庭への支援を効果的に行うためには、行政と関係機関の緊密な連携が欠かせない。特に発達支援や療育分野においては、専門職による助言や支援内容を共有し、保護者の理解と安心につなげることが重要である。乳児家庭全戸訪問事業や巡回支援専門員整備事業については、子どもや保護者への早期支援につながる有効な取組であることから、引き続き適切な支援につなげる体制を維持・強化されたい。

エ 幼稚園や保育施設、遊具の安全確保については、園所からの相談があれば現場に赴き、状況を共有した上で対応方法を検討するなど、密な連携が図れている。日常的な点検及び異常発見時の迅速な対応を今後も継続し、引き続き子どもが安心して過ごせる環境づくりを推進されたい。また、老朽化対策やトイレ環境の改善、暑熱対策としての空調設備の整備など、子どもだけでなく職員の働く環境改善にもつながる施設整備を今後も計画的に進めていくよう願う。

3 社会教育の充実

(1) 社会教育課所管

- ア ときめきスクールやたちばな大学等の参加者募集型事業において、つながりを求めて参加する人は一定数いるが、スポット的に参加したい人や、前年度からのメンバーですでにグループが出来上がっていると参加しづらいと感じる人もいる。各事業の実績・成果を広報等で周知し、興味を持たれた方が気軽に参加することができるような柔軟な仕組みを取り入れる等により、参加者数の増加につなげられたい。
- イ 町スポーツ少年団の活動を中学3年生まで受入れ可とする中で、学校部活動の地域展開（地域クラブ）と町スポーツ少年団活動のすみ分けを整理し、中体連の大会出場をめざすためには、地域展開（地域クラブ）として実施していく必要があることも伝えられたうえで、活動が推進されることを期待する。
- ウ 文化会館への指定管理者制度の導入については、施設の安定的かつ持続的な運営を確保するとともに、地域の実情や住民ニーズに即した運営が行われるよう、町として適切な支援及び指導監督に努められたい。
- エ 文化財保護事務に関しては、大規模な町事業等を含め、需要が増大する中、調査に取り組まれていると認識しており、円滑に調査が進むよう体制の整備を進められたい。また、出土品の再整理で成果が得られたとのことで、今後の動向に期待したい。
- オ 歴史資料館に関しては、休館期間ならではの取り組みとして学校等外部の出前講座に多数出講されたことは評価したい。こうした普及活動と再開準備とが破綻しないよう意識して事務を進められたい。
- カ 令和7年度から実施している図書館での夏休みの学習スペースの効果は、今後2～3年かけて検証していく必要があるのではないかと。また、実施していくうえで、机のレイアウトを変えてみる、学習スペースを利用する人の興味をひくような本を並べるといった工夫をし、スペースの利用だけに終わらせず、図書館の利用・貸出につなげられたい。